

石巻専修大学

石巻専修大学ホームページ <http://www.senshu-u.ac.jp/shinomaki/>

代表電話番号
0225 (22) 7711
広報専用FAX
0225 (22) 7809

専大生田キャンパスで特別研修 勉学意欲を刺激

人間文化学科1、2年次生20人

「初めて学ぶ分野で、視野が広がった」「専修大学の学生と交流できて楽しかった」。人間文化学科1、2年次生20人が9月8日と9日の2日間、専修大学生田キャンパス(神奈川県川崎市)で学んだ。専修大学文学部と人間科学部の協力で実現した初の特別研修で、マスメディアや児童心理についての特別講義を受講。両学部の学生とグループ討論したり相撲部の稽古を見学して「ちゃんこ」を味わうなど、専修大学の伊勢原セミナーハウス(同伊勢原市)を足場に有意義な2泊3日を過ごした。



実際の紙面を題材に山田教授が解説



専大相撲部員に挑戦

「社会を読む」と題し「好文館高」というなぞく学生が目立った。自分たちの関心事を述べ合い、有効な情報発信について探った専大生との意見交換会では、東日本大震災を風化させないための方策が話し合われた。武山海斗さん(2年次・宮城県石巻商業高)は「改めて震災の事を深く考える良い機会になった」と話し、震災の関連記事を報じる石巻の地元紙を専大生に託していた。

学生がひときわ真剣味を増したのは、ヘイトスピーチに話が及んだ時。戦前・戦中の言論弾圧への反省から、憲法は例外を設けず「表現の自由」を保障していることが取り締まりを難しくしているという解説に、「憲法との関わりを知りました」(佐藤ひかるさん)1年次・宮城県石巻人間文化学科主任の松崎俊之教授は「大いに刺激を受けたようで、勉学意欲の向上につながった」、遠藤郁子特任准教授は「若いから吸収も早い。この数日で随分しっかりとったように感じる」と学生の奮闘をたたえた。

ツール・ド・東北2014 健脚発揮 坂田学長ら10人完走



坂田学長(左から5人目)ら本学の参加者

本学を発着点に、自転車道で完走するなど、盛り上がりを見せた。2014「ツール・ド・東北」は、朝もやの立ち込める新報社、ヤフー)が9月14日に開催された。全国から約2800人が参加した。2年連続で参加した坂田学長は北上(100キロ)を走り、卒業生ら10人が出場し、完走を果たした。被災地の今を見、東北の自然や旬の味覚にふれる復興支援イベントで、順位やタイムを競わないファンライド方式。今回は女川・雄勝フォンド(60キロ)から新設の気仙沼フォンド(220キロ)まで、全4コースを設定。キヤロライン・ケネディ駐日米大使が女川・雄勝の憩いの場となった。

カーシェアの業務改善提案
経営学部・舛井ゼミ(指導・舛井道晴准教授)の学生13人が、石巻市内の仮設住宅で自動車の共同利用事業を行う日本カーシェアリング協会の業務改善について提案をまとめ、9月1日に本学でプレゼンテーションを行った。

阿部さんが優勝
仙台北町道大会 第65回仙台北町道大会(9月7日、仙台市泉弓道場)の一般男子の部で阿部竜也さん(経営1・宮城県塩釜高)が優勝を飾った。

受賞プランを発表した2年次の小形駿貴さん(宮城県塩釜高)は「聞き取り調査で業務が複雑化しているという課題が分かった。スタッフの方の負担軽減につながればうれしい」と話した。

機械工学科

好記録で念願の初優勝

手作り自動車省燃費競技大会

ガソリン1リットル当たりの走行距離255.95キロ。理工学部・山本憲一教授(指導・山本憲一)が「手作り自動車省燃費競技大会」(9月13日、仙台市)に所属する機械工学科の科自動車工学コースの4年次生8人と3年次生1人で、念願の初優勝を果たした。



軽快な走りを見せた「奥津男子」号

排気量50CCの手作り自動車を使用。1周633.33キロのコースを平均時速25キロ以上で20周し、ガソリンの消費量から燃費を算出する。「高校の部」「大学・高専の部」に県内外から計6チーム11台が出場。本学の「奥津男子」号は安定した滑らかな走り、好記録をマークした。

西日本の5大学巡り 防災ワークショップ

経営学部 山崎ゼミ

「100人いる避難所から脱却しよう」と内容を工夫。具体的な問いで対話を深めた。ゼミ生は3班に分かれ、4、5日に神戸市、京都市、大阪市を、16日に愛媛県松山市を訪問。兵庫県立大学や龍谷大学、松山大学など計8大学の学生と机を囲んだ。冒頭の問いには「公正な抽選で決める」「子どもを優先する」などの意見が出て活発なやり取りになったという。例題のもとなっていたのは、山崎教授が責任者となって開講している「復興ボランティア学」の講演録。講師は石巻地域で復興支援に取り組んでいる団体や企業のリーダー。災害時の対応など示唆に富む内容となっている。同様の試みを山崎教授がある大企業の新入社員研修で行い、手ごたえを確かめたという。



阿部さん(前列左から3人目)、氏家さん(4人目)ら多くの部員が入賞した。